

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

人間は大自然には及ばない 山川 宗玄 (臨済宗妙心寺派管長)

1. 日常のすべてが修行という意味では、『臨済録』にある「**隋処に主を作れば、立処皆真なり**」という禅語を取り上げたいと思います。あらゆる場で主となるというのは、何も自分を前面に打ち出すことではなく、目の前の対象と一つになってそこに打ち込んでいくことです。
2. そして、これからの時代を考えた時、「**現成受用**」という言葉も広くお伝えしておきたい言葉です。簡単に言いますと、自然がつくりあげたものは人間の計らいを超えており、そこにたまたま我われが存在しているという意味です。いまの世の中、科学技術で人間は何でもつくり出すことができる。そのためには何をやっても許されるという考えにあふれています。
3. いくら高度な文明を築いても、大自然の力には及びません。時には思いもしない天災に見舞われることもある。その時は「なぜこんな不幸が訪れるのか」と嘆くのではなく、まず現実を素直に受け入れた上で、片付けなどできることから一つひとつやっていく。そういう心の持ち方が大事になってくるのではないのでしょうか。

(参考:「致知」2024年10月号)

経営者のための経済学

円安による二極化逆転

木内 登英

(野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト)

1. 現在、日本経済は二極化状態にある。グローバル企業を中心に企業の収益環境は良好だ。それを映して、株式市場も概して堅調である。他方、個人消費はかなり弱い状況にある。この二極化をもたらしている大きな要因が円安だ。円安はグローバル企業の収益を改善させ、株価を押し上げる。
2. また、円安による物価上昇観測は実質金利を押し下げ、株高やさらなる円安を促す。他方、円安による物価高懸念は、賃金上昇傾向が高まる中でも個人の消費マインドを悪化させているのである。歴史的な円安の流れが終わり、円高の流れに変わるのであれば、二極化は逆方向へと転じ、個人消費が回復に向かう一方、株価は上昇しにくくなるだろう。

(参考:「週刊東洋経済」2024年8月3日号)

経営者のための危機管理

機能せぬ公益通報者の保護

1. 大塚食品の工場で内部告発をした後に不当な配置転換を受けたとして、社員が2024年5月、同社を提訴した。現行法では会社が公益通報者に不利益な扱いをすることを禁じているが、罰則規定はない。専門家は実効性を高めるため企業に対する罰則強化を求めている。
2. 米国やEUには、不正があった際に企業に高額な制裁金を科し、一部を通報者へインセンティブとして与える制度がある。内部通報が機能しないことは社会の損失となるという考えだ。ダイハツの認証不正、ビッグモーターの保険金不正請求など近年社会を揺るがせた不祥事はいずれも内部告発(外部通報)から発覚した。勇気ある告発者を守るためにも、早期の法改正が求められている。

(参考:「日経ビジネス」2024年7月29日号)

古典に学ぶ

怒りの原因は何か

1. 先ほど、怒りの原因は、「都合通りにならないこと」だとお話ししましたが、これは、人間が抱く苦しみ全般に通じます。その原因を自力で解決していけば、地獄も脱出できます。
2. それには、二つの方法があります。一つは、自分の力の及ぶ範囲で、「都合通り」になるように努力して願いを叶えることです。やりたいことがあるなら、時間をとってやってみる。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)